

「生ごみ処理機使用者」  
アンケート調査結果

平成27年10月

龍ヶ崎市都市環境部環境対策課

## ◆調査概要

### 1 調査目的

本調査は、生ごみ処理容器等購入補助制度を利用した方を対象に、生ごみ堆肥化の取り組み状況等を調査し、今後の生ごみ減量施策検討の参考とすることを目的に実施したものである。

### 2 調査対象

- (1) 生ごみ処理機補助金対象者（平成25年4月～平成27年6月）
- (2) 対象者数 93名

### 3 調査時期

平成27年6月10日（水）～平成27年7月31日（木）

### 4 調査方法

調査票を対象者へ郵送し、返信用封筒で回収する。

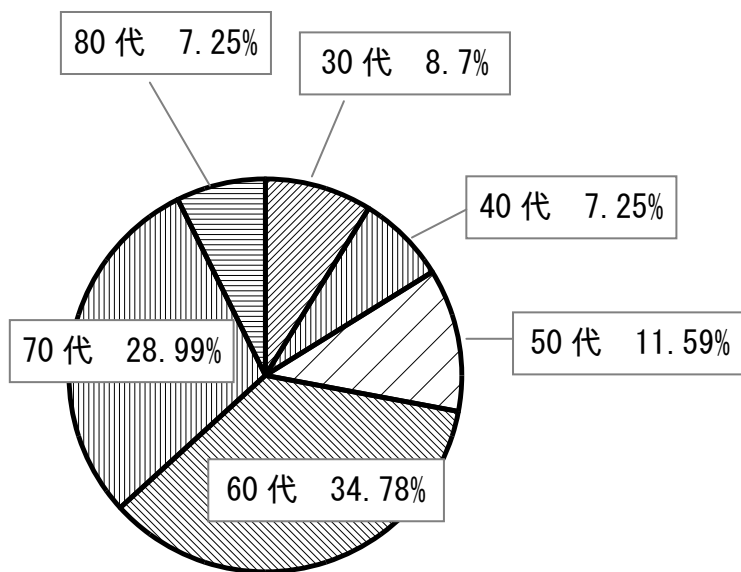
### 5 回収率

- (1) 調査票発送数 93通
- (2) 回収数 69通
- (3) 回収率 74.19%

◆ 「生ごみ処理容器使用者」 アンケート結果

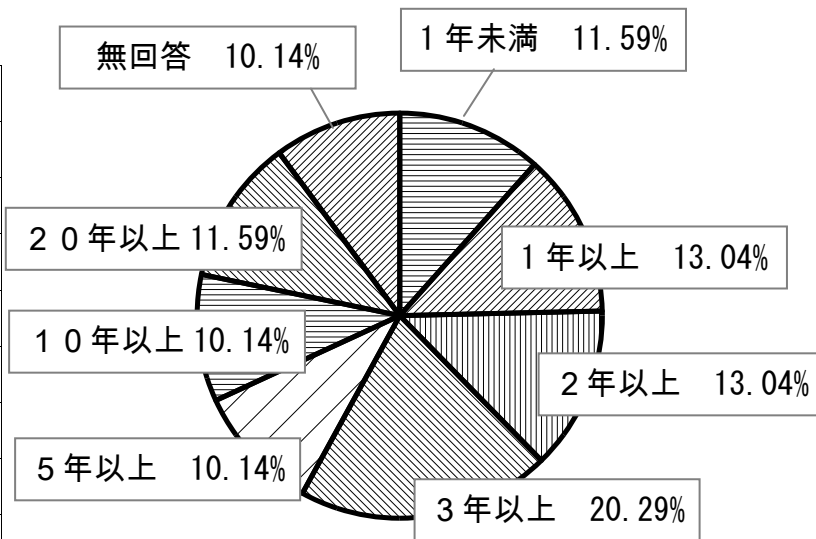
①年代

	実数	割合 (%)
20代	0	0
30代	6	8.7
40代	5	7.25
50代	8	11.59
60代	24	34.78
70代	20	28.99
80代	5	7.25
90代以上	0	0
無回答 外	0	0



②使用歴

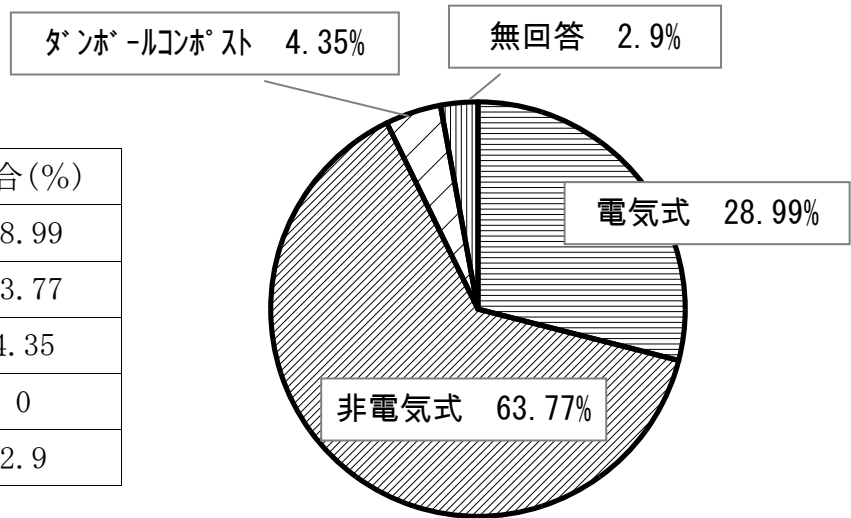
	実数	割合 (%)
1年未満	8	11.59
1年以上	9	13.04
2年以上	9	13.04
3年以上	14	20.29
5年以上	7	10.14
10年以上	7	10.14
20年以上	8	11.59
無回答 外	7	10.14



※問1（いつから使用か）の設問回答を組み合わせて算出。

### ③使用機種

	実数	割合(%)
電気式	20	28.99
非電気式	44	63.77
ダンボールコンポスト	3	4.35
その他	0	0
無回答 外	2	2.9



### ◎参考

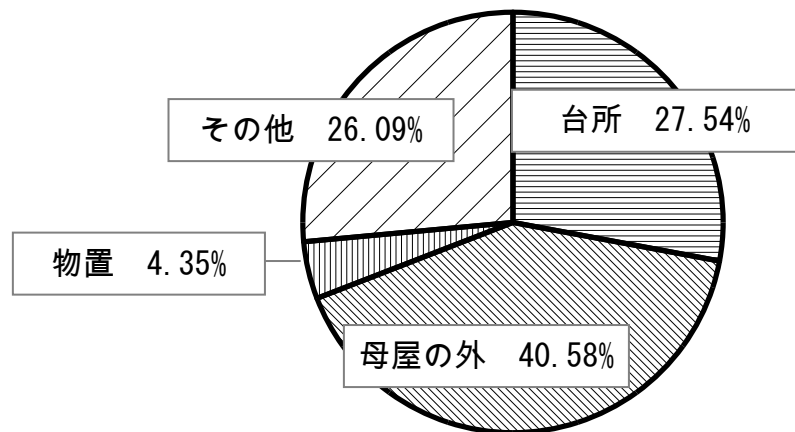
対象者の市街化区域・非市街化区域率（全体中）

市街化区域・・・73.4%

調整区域・・・26.6%

### ④置き場所

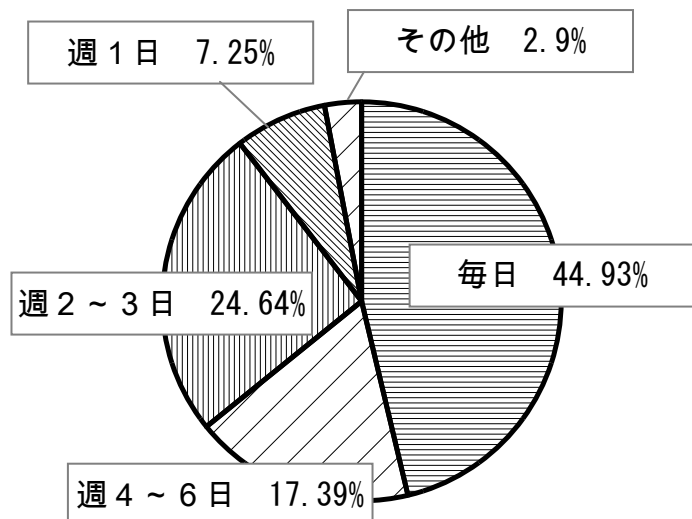
	実数	割合(%)
台所	19	27.54
母屋の外	28	40.58
物置	3	4.35
その他 (※)	18	26.09
無回答 外	0	0



※その他の殆どは「畑」で使用。

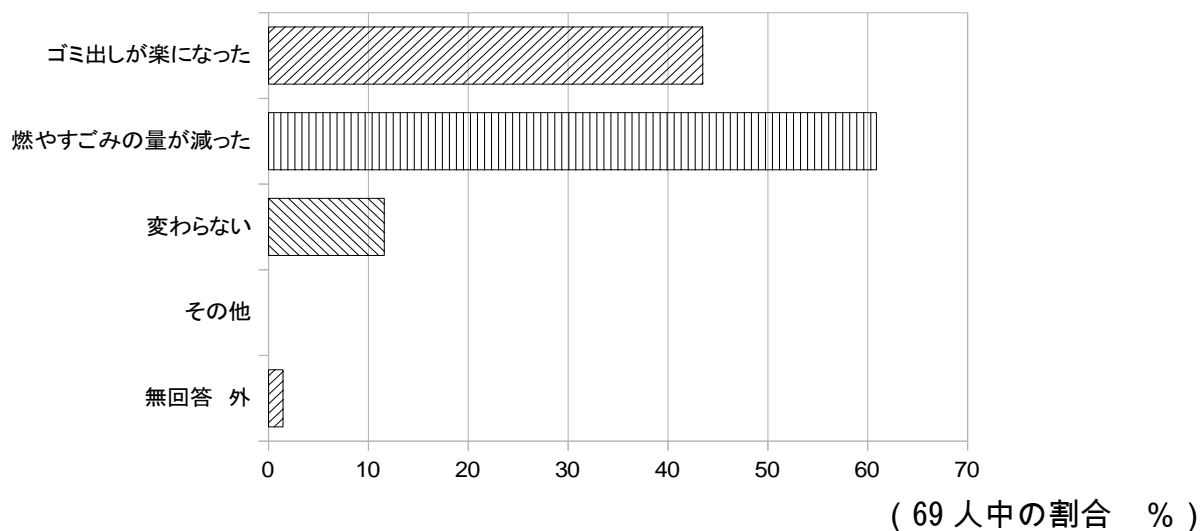
### ⑤使用頻度

	実数	割合(%)
毎日	31	44.93
週4～6日	12	17.39
週2～3日	17	24.64
週1日	5	7.25
その他 (※)	2	2.9
無回答 外	0	0



※実数2の内訳は「月2回」と「今現在使用していない」

## ⑥使用後のゴミ量（複数回答）



	実数	割合 (%)
ゴミ出しが楽になった	30	43.48
燃やすごみの量が減った	42	60.87
変わらない (※)	8	11.59
その他	0	0
無回答 外	1	1.45

※「変わらない」の方はコンポスターの臭いが気になって現在使用していないか、ずっと昔からゴミ処理機を使用している人。

## ご意見・ご質問等

- 生ごみ処理機でできたゴミは家庭菜園用に肥料として使っている。
- 毎日夕飯の後処理機のタイマーを利用してその日の量を処置します。電気料金の安い深夜を利用しています。できた肥料は乾いているので軽く庭に利用するのもにも便利です。
- 生ごみをボカシ剤を入れて発酵させると標準時間では発酵しないので苦労している。
- 我が家ではボカシバケツ6ヶ月で20年程家庭菜園で使用しています。燃やすごみは出す回数は週1回、ボカシも自分で作っているのでボカシの量もたっぷり使えて失敗したこともなく、野菜も健康なものを食べて病気知らず、良いことだらけです。ボカシ容器で虫がわいたり臭いとか聞きますがボカシの量が少ないからです。そこの所、役所で販売するだけではなく指導していただけたら良いかと思えます。
- 処理機を使う時も、水分を絞ってから機械に入れると時間が短くなる。ベランダだから良いが少々臭いが気になる。
- 生ごみ処理機菜園で肥料として使用しているので、野菜の育ちが良くなっている。処理機の全額補助をお願いしたい。

○庭菜園の堆肥利用の目的で購入しました。少しずつですが庭の土が変化しているのに最近気づき、うれしかった。苦労した所は、イカや魚の内臓を入れると臭いがきつくなる点です。

○液肥は使いやすいのですが堆肥を埋めると小動物が出没して掘り起こして悪戯をするので大変です。上にビニールをかけ、重しをしたりして戦っています。

○庭土の土壌改良のためにコンポストを設置しました。生ゴミや雑草を入れて使用しましたがなかなか分解されず、コンポストはすぐに満杯になりゴミの量は減りませんでした。早く雑草が分解される方法があれば知りたいです。

○EMボカシで土を作ると植物や野菜の生育が良くなる。

○ダンボールコンポストはダンボールがふやけてくると使えなくなる。もっと長期に使用可能で容量の多い木製又はプラスチック製の容器がないと長続きしない。他自治体で使用している「キエーロ」も検討項目として提案する。

○草花の生育にボカシは良いと思います

○生ごみの臭いが気にならなくなりゴミの量と重さが減った。値段は高いが市で補助していただけるなら使い続けたいと思います。

○良かった点：家庭菜園のための生ごみ肥料として利用できたこと。無農薬で育てて子どもたちと収穫を楽しんでいます。

悪かった点：毎日の生ゴミをその都度細かく刻み、EMボカシを混ぜる手間がかかること。完璧を望まず、時間のあるときだけやろうという気持ちになりました。

○現在2つ使用しており1つは日常使用しています。入れるものは生ゴミ・剪定した細い枝、雑草等米ぬかです。1年間くらいで2つのコンポストを切り替えながら中に入れます。良く踏み込むと6～7ヶ月で土に変わります。

○電気代がかかる。台所をいつも清潔にできる。

○燃やすごみの量が少なく、家庭菜園に役立つのが楽しみです。容器が劣化するので買いなおすが、その場で値引きしてほしい。役所に行くのを忘れてしまう。

○畑に利用している。土の改良になっている。

○EMボカシの蓋がよくひび割れてしまうので蓋のみだけでも売ってほしい。

○しぼれた液体は水田耕作、野菜畑等に肥料として利用し、植物の根張りを良くしてくれているので有効な効果を得ている。

○虫がでる。野菜畑に使用するが運ぶのが大変。

○ゴミへの意識が変わった。食べ物を全部使い切るようにしたので、今では野菜くずとお茶がら、動物の骨が出るだけでそれらも、コンポスト・EMで肥料にしているのでゴミの収集日には生ゴミは出していません。「もったいない精神」がゴミの減量化につながるのだと実感しました。

○台所の臭いが気にならなくなった。電気代がかからないように深夜にタイマーをセットして深夜割を使用している。

○消石灰を入れると虫が発生しにくく、くさくないことがわかった。ボカシを入れると分解が早い。

○ゴミが減ったのはとてもうれしい。野菜や果物の消費量が一般家庭より多いのでとても助かる。ただ、コンポストは虫がわいてしまうだけが難点です。

○生ごみが減り肥料が増えるのが楽しみです。

○生ゴミは土に埋めていたので燃やすゴミとして出したことがなかった。EMボカシを使うようになってから生ゴミが土に戻るのが早くなった。夏は日陰が無くて置き場所に困っている。容器がプラスチックで劣化してしまう。EMボカシの代金もかかってしまう。

○EMボカシ容器を使っているが、ゴミ出し量が重さにして半分以下になっていると思う。環境作戦に参加している実感がありとても気持ちが良い。

- 処理した生ごみは野菜の肥料として利用しています。
- 良い点：生臭さがなくなり気持ちよい。悪い点：発酵するまで難儀である。
- 10年以上家庭菜園をやっており、家庭の生ゴミはすべてボカシを使用した肥料になっております。車がないので市の出張所まで買いに行くのが不便ですのでボカシをコミュニティセンターで売って欲しい。（長山地区6丁目）
- 燃やすごみは週一回ですんでいます。
- 家庭菜園の肥料にするため、EMボカシを20年以上使ってきましたが年をとったので畑に埋めることが困難になり電気式に変えました。
- 燃やすごみの量が減ったので良かったと思います
- 電気式だといつでも処理が可能なので土に混ぜ無農薬の野菜を作りたいと思います。
- 家庭菜園に大変役立っている。作物の実りが良い。
- 現在3基になったので1年以上完全に寝かせ、処理してから堆肥として菜園で使用している。
- 臭いが無くて気持ちよい。できるだけ小さく切って投入するようにしている。
- 野菜屑でも固い芯の部分は取り除いて、生ごみ処理機に投入すると、処理が早く畑の肥料となる。
- 臭いがきつくて家族に文句を言われています。
- 生ごみを細かく切らないためか、分解速度が遅く、容器2個で交互に使用しても肥料として利用できる状態には難があり、土に戻しても猫などが掘り返すので最近の使用を中止にしています。良い方法はないでしょうか？
- 良かった点：畑の堆肥として使える。 苦労した点：不快な臭いがする。水抜きが面倒。
- ガーデニングが趣味なので役に立っていますがやはり臭いの問題はあります。
- 冬場でも使用はとても良いのですが、夏場の使用は少しひかえめになってしまいます。（臭いやカビ、虫の発生がづらいです。）
- 日陰なのできれいな肥料にならない。
- 虫の発生が気になり、野菜のクズと雑草、葉等は入れていません。
- 魚のワタや頭等の臭いが気にならなくなった。たまったらボカシを混ぜて肥料にしています。繊維の長いものは細かく切って投入しております。ダンボールコンポストは使いずらかった。
- 夏場の嫌な臭いが気にならなく、ごみ出しも週に1度か10日に1度になり、袋代の節約になりました。又、できた処理済のごみは家庭菜園での肥料にして無駄なく利用しています。一家に一台お勧めです。
- 生ゴミの堆積方法がわからないので広報などで教えてもらいたい。
- 現在EMボカシ容器3台使用。生ゴミは全て家庭菜園で使用している。以前は大型コンポスターを使用していたがうじ虫がわいてしまっていた。今はうじ虫がわかず清潔感がある。EMボカシ材料の無料配布を希望します（EM, 米ヌカ, モミガラ）
- 生ゴミを2～3日分、太陽にあててから使用します。電気代の節約になっていると思います。
- 肥料にできるのでよかった。
- コンポスターを使用しているがただ入れたままでは臭くなってしまう。最近ゴミの上に土壌をのせると良いと聞きそのようにして臭わなくなりました。斡旋していただくときに使い方等を詳しく教えていただけたらよかったかと思います。
- 早く分解処理が進むための菌の補充が高値のような感がある。菌の補充にも補助金があれば助かります。
- 夏の間、締め切っている生ゴミの臭いがしない。庭の土作りに役立っている。

○利用記憶では16年くらいかと思いますが、当初は処理能力2.0kg/日の物を使用していました。10年くらい前から処理能力4.5kg/日の物を使用しています。使い始めてからの利点は毎日発生する台所の生ごみを三角コーナーに保存しないため生臭さが全く無く、燃えるごみ（ビニール・紙）等のその他のごみがコンパクトに保管できるため大変効果があります。

現在使用中の物は電気式で温度帯は自然菌が分解する適正な温度帯の38～42度の機械で杉を粉砕したおがくずを菌の繁殖媒体としたものです。方式には乾燥式もありますが、乾燥式の場合には水分を飛ばすだけなので処理物を再利用する場合には土壌に混ぜて堆肥化する時間がかかるために電気式でもバイオ型の処理機の方が花壇・その他に利用するには適しています。当方はバイオ型を利用していますので、自宅の畑等に土と混ぜて利用しています。難点は人間が食べた残り及び野菜クズの為、チッソ成分が強く、葉物・草花等には適していますが、根菜類には堆肥としての効果はあまり期待できません。処理物の再利用については、米ぬか・鶏フン等と再発酵させないと本当の肥料効果は期待できません。

何よりごみの減量化については市民全体が減量に取り組む必要があると思います。

生ごみを他のごみと一緒に燃やせばその分処理費用がかかりますので分別して処理するのが一番だと思います。燃えるごみとして出せば簡単かもしれませんが、全て税金で処理されているわけで目に見えない部分で無駄な経費を掛けていると思います。

生ごみ処理機を使った経験として毎年杉のチップを購入しています。この部分でいくらかの援助があれば助かります。（年間3600円）しかし杉チップの費用はゴミ袋の使用枚数が大幅に減っていますので効果ありです。環境対策課の支援金で既に2回機器を購入しています。又、次に援助があるようならば最新の機器を買いたいと思います。

## 総評

アンケートの結果、使用者の年代は60代～70代で63.77%と6割を超え、窓口対応から30代～40代では主婦層が多く、時間に余裕のある定年退職者等が多い傾向があった。生ごみ処理機の使用方法は簡単であり時間もかからないことから、20代～50代の共働き・子育て世代にも普及・浸透するようにさらに啓発活動を行うなど働きかけが必要である。当課で開催しているこども環境教室等を媒体にして子どもに興味を持たせ、家庭で使えるような自由研究の題材等にするなど普及に対する研究が必要である。

使用機種は殆ど非電気式であり、サラリーマン家庭が多い市街化区域と農業を営んでる方が多い市街化調整区域の関連性は見られなかった。非電気式が多いことから家の外に置く人が多く、庭付き一戸建て住宅の世帯が多いという当市の特色を表していると思われる。

使用頻度は毎日の方が5割近く、週2～3日の方も3割近くいた。その殆どがごみの量が減ったと答えていることから、毎日使用しなくても一定の効果が立証された。

使用者の意見では生ごみの臭いについての悩みが多かった。工夫している人では、EMボカシを多く入れたり、生ごみを細かく切って投入したり、生ごみの上に土をかけて臭いが出ないように様々な工夫をしているようだった。電気式を使用している人では、電気代を気にしている人が多かったが、時間設定して電気代の安い夜に稼動するようにして電気代を節約していた。

使用者は、ごみの量が減った、子どもと一緒に楽しんでいる、園芸の肥料になっている等、殆ど全員が満足出来る結果を得ていた。

課題としては、臭いの消し方等を教えて欲しい、補助対象機器を増やして欲しい（キエーロ等）との意見があったので、今後使用方法の講習会を開催したり、使用者の増加の啓発も兼ねて使用方法を広報誌に記載する、他市町村の補助対象機器を検討するなどをあげることにする。